



福島県立橘高等学校

進路だより 第7号

令和7年10月29日

橘高校進路指導部



1 進路希望調査（10月）の結果から

3年生については、今回の調査結果が共通テストに臨むにあたっての第一志望校となります。国公立の分類でみると、国立大 64.3%、公立大 21.2%、私立大 10.4%です。国公立大学志望者が全体の 86%を占めます。2年生については、国公立大学志望者が全体の 88%を占めています。国立大 約 71%、公立大 約 17%となっており、国立大の割合は5月より増加しました。1年生については、国立大 約 74%、公立大 約 15%となっており、国公立大学志望者が全体の 89%を占めています。公立大の割合が5月調査より増加しています。1・2年生はまず大学を知ることが大切です。今後も大学・学部について十分に研究を進めてください。

2 学習時間調査（10月）の結果から

単位：時間

	平日	今年度 5月平日	昨年度 10月平日	一昨年度 10月平日	休日	今年度 5月休日	昨年度 10月休日	一昨年度 10月休日
3年	3.53	2.02	3.03	3.33	6.96	3.67	6.64	7.07
2年	1.54	1.56	1.61	1.85	2.72	2.74	3.29	3.25
1年	1.68	1.64	1.65	1.54	2.92	2.84	3.00	2.86

3年生については、先輩方とほぼ同じといえますが、2年生については、特に休日の勉強時間が先輩方より少ないです。1年生については、先輩方との差は少ないようです。国立大学合格者の平日平均は1年生が**2時間**、2年生が**2.5時間**、3年生が**4.5時間**だそうです。休日は**平日の2倍**と考えてください。これらと比べると、いずれの学年も平日・休日ともに学習時間が少ないといえます。また、ただ学習時間を増やせばいいのではなく、集中して学習に取り組むこと、及び1週間単位、1か月単位で満遍なくどの教科も学習するような「学習管理」が必要です。後期中間考査（3年は学年末考査）が近づいていますので、これを機に、学習時間の確保、学習計画の見直しを行ってください。学習時間を管理するためのツール（手帳やスマホのアプリなど）も多く出ています。自分に合うものを使ってみるのも良いでしょう。

3 定期考査や外部模試の活用

3年生は、受験モードを突き進んでいることと思います。最後まで自分の学力を伸ばさせるべく努力しましょう。1、2年生も残り5ヶ月。それぞれの学年の学習の総仕上げをしていきましょう。さて、多くの先生方から「定期考査や模試は復習が大切」と言われているはずです。特に定期考査は、授業で既習の内容です。間違いをチェックして、抜け落ちている箇所の確認と再学習に努めましょう。ただし、丸暗記では役に立ちません。答えにたどり着く論理的な道筋を確認していきましょう！

効果的な勉強法～Geminiに聞いてみた～

- 人に教えるつもりでノートを作る（または説明する）…人に教えられれば理解できている
- 自己質問で理解度を深める…「なぜそうなるのか?」「これはどういう意味か?」と問いかける
- 記憶しているものを書きだす（アウトプットの重視）…英単語を何も見ずに書き出すなど
- 忘却曲線に基いて復習する…1日後、1週間後、1か月後など、間をおいて繰り返し復習する

4 10月の行事から

「キャリア研修」(1学年)

10月10日(金)、1学年の生徒を対象にキャリア研修を実施しました。この研修は、地域を支える企業や研究機関を訪問することで、地域社会が抱える課題の解決に必要な知識や視点を得るとともに、勤労観・職業観を育み、進路意識や学習意欲の向上を図ることを目的としています。生徒たちは、教育、地域振興、農業、保健医療、IT、医療工学、震災復興、宇宙関連の8分野から希望するコースを選び、それぞれの施設で見学や説明を受けました。今回の研修を通じて、生徒たちは最先端の技術や地域の課題について理解を深める貴重な機会を得ることができました。以下は参加した生徒の感想です。



「会津大学でのIoTに関する講義が印象に残った。会津大学はデジタル技術を専門に研究しており、社会問題の解決を目指していることに感銘を受け最後までワクワクしながら聞くことができました。」「午前中の『AICT』の施設見学が面白かった。地域での情報連絡による社会充実、スマートシティ会津若松の取り組みを詳しく知ることができた。」「実際に手術室を見たことが印象深かった。実際に手術室に入ってみると、様々な工夫が凝らしてあることに感銘を受けた。貴重な体験ができた。」「パソコンと人の模型を繋げて心臓の音を変えて実習することが出来ることに驚いた。外部の電波を遮断して製品から出る電波を測るなど様々な検査をするのが分かった。」



「角田宇宙センターではロケットの心臓部分であるエンジンについて、打ち上げ失敗の原因を調べ、二度と起こらないように研究していた。そのことから、結果から原因などを考え、次に活かすことが大切だと感じた。」「産総研で開発されたパロというアザラシ型のセラピーに使うロボットが印象に残っている。行動がリアルで、充電もおしゃぶり型のもので、細部まで手が込んでいて、すごいと思った。」「子供の成長の様子を近くで見ることができ、その成長の喜びを共有できることが教師のやりがいだと分かった。」「松陵義務教育学校の授業に参加してみて、授業を受ける姿勢や休み時間の様子から一人一人の個性がしっかりと出ているなと思った。義務教育学校は9年生までであるので、学年が変わるにつれ成長して雰囲気も変わっていくことをより強く感じられた。」

「国見町役場では、役場の中でも様々な課があり異動もあるため、様々なことに挑戦できるのが面白さの一つだと思った。」「福島検察局に行き実際に検事の方のお話を聞いた。印象に残っている捜査の話聞き、実際の手錠や取り調べ室などを見学し、検察局の雰囲気を肌で感じる事ができた。」「FH2R(福島水素エネルギー研究所)といった普段は入ることができない貴重な場所に行くことができて良かった。現代の福島県において、復興は希望も課題もあり、これからもまだまだ復興に向けての取り組みは続いていくということがわかった。」「伝承館に展示されていた、変形した側溝のフタやボロボロになったポストが印象に残った。この日常がああ地震で大きく変化してしまったのだと思い、何気ない日常を大切にしようと思った。」



「実際にビニールハウスの中に入って、何千も生えているいちごの苗の手入れをしたことと、最後にスマイルファームさんお手製のいちごけずりを頂いたことが印象に残った。」「農業関係者が減少している一方で、スマート農業が広まった事で全体の農業面積は変わっていないという事に驚いた。」「東北医科薬科大での校舎案内で実験室に入ることができたことがとても楽しかった。専門器具や調合台・薬品などを見て薬剤師という仕事も楽しそうだなと思った。」「東北福祉大学での模擬講義で、地域で暮らす人がよりよく生きられるように支えるシステムを作る取り組みを知ることで、2025年問題や地域包括ケアシステムについても学ぶことができた。」